

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

法人名	株式会社チャイルド・ピース
施設名	小鳩ナーサリースクール浜離宮
施設所在地	港区浜松町1-3-1 浜離宮ザタワー203

1. 活動のテーマ

<テーマ>

やさい・くだもの (スイカ割り)

<テーマの設定理由>

「やさい・くだもの」は、給食や日々の生活の中で子どもにとって身近で親しみやすく、関心を持ちやすいテーマである。都心に位置する本園では、栽培などの実体験が少ないからこそ、五感を使った体験を通して感性を育むことを大切にしている。また、少人数かつ異年齢保育という環境を生かし、年上の子どもと年下の子どもが互いに関わりながら共に活動することで、自然なつながりが生まれ、言葉の育ちや気づき、発見の共有へとつながっていく。自分で選び、育て、食べるという一連の体験は、主体性の育ちにもつながる。こうした探求心を育むことをねらいとして、本テーマを設定した。

2. 活動スケジュール

9月1日 すいか割り・二色のスイカの食べ比べ

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

赤色と黄色のすいかを用意し、ブルーシートを敷いてすいかわりができる環境を整えた。棒や目隠しのバンダナを準備し、保育者が側につきながら安全に活動できるよう配慮した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

導入として、すいかの絵本の読み聞かせや見立て遊びで「すいかわりごっこ」を行った。実際のすいかわりでは、一人一人がすいかに触れ、乳児は保育者と一緒に棒を持ってすいかを叩く体験をした。幼児は目隠しをして順番にすいかに挑戦した。最後に、調理師に切ってもらった赤色と黄色のすいかを食べ比べた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

乳児は棒ですいかを叩くことを楽しみ、幼児はすいかを割ろうと一生懸命取り組んでいた。黄色いすいかが割れて中が見えた瞬間、驚いた表情を見せたり「黄色のすいかだ」と声にしたりする姿が見られた。保育者は子どもの気づきに言葉を添えながら関わっていた。食べ比べでは、「黄色のすいかもおいしい」「赤がおいしい」など、それぞれに感じたことを話す様子が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

全クラスで活動を行う中で、同じすいかわりでも年齢によって関わり方や楽しみ方が異なることに気づいた。乳児はすいかに触れたり棒で叩いたりすることを楽しみ、幼児はすいかを割ろうと繰り返し挑戦する姿が見られた。また、食べ比べでは色や味の違いに気づきながら食べる様子も見られ、すいかに触れる体験がそれぞれの年齢に応じた楽しさにつながっていることを感じた。